

文化遺産国際協力コンソーシアム第34回研究会

学校教育と 文化遺産



©トラランカレカ考古学プロジェクト

2024.9.28 [土]

13時～17時 (12時30分開場)

会場

東京文化財研究所 地階セミナー室
(東京都台東区上野公園13-43)

入場無料

定員110名[事前申込制]

主催：文化遺産国際協力コンソーシアム、文化庁



JCIC-Heritage



文化庁

学校教育と 文化遺産

2024.9.28[土]

13時～17時(12時30分開場)

近年、文化遺産国際協力の現場では、国際協力をする側から一方的に知識や技術、資材等を供与するのではなく、対象の文化遺産の保護を担う側(カウンターパート)や文化遺産に関わる様々な人々(ステークホルダー)と相互に連携して持続的な活動とすることの重要性が強く意識されるようになっていきます。そうした中で、とくに児童生徒の教育に文化遺産を組み込むことが、文化遺産保護の足腰を強化する手段、あるいは効果的な国際協力の活動の一つとして注目されるようになっていきます。

本研究会では、将来世代に対する文化遺産への認識の醸成や、国際理解の促進、持続可能な地域社会づくりへの貢献等につながるような国内外の事例を紹介しながら、初等教育・中等教育を中心に、学校教育が文化遺産国際協力に果たす役割、その方法論や課題等について議論します。本研究会を通して、文化遺産国際協力と学校教育の関係にあらためて目を向け、その意義を共有することで、今後の活動の一助となることを期待しています。

プログラム

- 13:00-13:05** 開会挨拶 青木 繁夫(文化遺産国際協力コンソーシアム副会長)
- 13:05-13:10** 趣旨説明 文化遺産国際協力コンソーシアム事務局
- 13:10-13:45** 講演1 第4学年社会科学習の実践「残したいもの 伝えたいもの～白川村荻町集落～」
澤之向 達也(岐阜市立加納小学校 教諭/前 白川村立白川郷学園 教諭)
- 13:45-14:20** 講演2 後期中等教育における文化遺産教育の意義と課題
—京都芸術大学附属高等学校プロフェッショナル科目「歴史遺産」の選択と進路—
増淵 麻里耶(京都芸術大学 芸術学部 教授)
- 休憩 10分 —
- 14:30-15:05** 講演3 ポピュラーカルチャーで学ぶ郷土史と文化遺産の保護
—メキシコ農村部における学習マンガの導入とその効果—
小林 貴徳(専修大学 国際コミュニケーション学部 准教授)
- 15:05-15:40** 講演4 アンコール遺跡における文化遺産シェアにむけての普及教育活動
丸井 雅子(上智大学 総合グローバル学部 教授) [ビデオ講演]
- 休憩 15分 —
- 15:55-16:55** パネルディスカッション
モデレーター: 關 雄二(文化遺産国際協力コンソーシアム副会長)
コメンテーター: 五月女 賢司(大阪国際大学 国際教養学部 准教授)
パネリスト: 澤之向 達也、増淵 麻里耶、小林 貴徳
- 16:55-17:00** 閉会挨拶 關 雄二

申込方法

コンソーシアムwebサイトの申込フォームより

お申込みください。 申込締切日: 9月23日(月祝)

<https://www.jcic-heritage.jp/news/34seminar/>



●アクセス

〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43

東京文化財研究所 地階セミナー室

●JR鶯谷駅南口より徒歩7分

●JR上野駅公園口より徒歩13分

●お問い合わせ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

(独)国立文化財機構 東京文化財研究所文化遺産国際協力センター内

E-mail: consortium_tobunken@nich.go.jp

〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43

Tel: 03-3823-4841 Fax: 03-3823-4027

X(旧Twitter) https://x.com/jcic_heritage

Facebook <https://www.facebook.com/jcicheritage/>

YouTube <https://www.youtube.com/@jcic-heritage6907>

